

令和7年度第1回埼玉県県央地域医療構想調整会議 議事概要

開催日時：令和7年8月29日（金）

19：15～20：10

開催形式：オンライン（Teams）

1 出席者

別紙参加者名簿のとおり

傍聴者3名

2 議 事

- （1）第1回地域医療構想推進会議の主な意見について
概要について、保健医療政策課から説明があった。

【質疑・意見等】

・特になし

- （2）新たな地域医療構想について
概要について、保健医療政策課から説明があった。

【質疑・意見等】

・特になし

- （3）地域医療体制の推進に係る課題解決に向けた今年度の圏域における取組について
「地域医療提供体制の推進」について鴻巣保健所から、実施する地域包括ケアシステムの推進に向けた今年度の取組について各市町から、それぞれ説明があった。

【質疑・意見等】

・特になし

- （4）医療機関対応方針の協議・検証について
概要について、保健医療政策課から説明があった。

【質疑・意見等】

・特になし

- （5）令和5年度病床機能報告・定量基準分析について病床整備の進捗状況について

概要について、保健医療政策課から説明があった。

【質疑・意見等】

・特になし

- (6) 令和6年度外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について
概要について、保険医療政策課から説明があった。

【質疑・意見等】

・特になし

- (7) 病床数適正化支援事業について
出席議員の全員の議決により非公開とした。

3 その他

- (1) 委員からの質問等

(大野委員) 周産期の医療及び高齢者の救急対応について整備したような計画も必要では。

(鴻巣保健所) 国、県の地域医療構想推進会議に等に意見を伝え何らかの反映をできればと思う。県央地域については一朝一夕には対策が難しいと考えるが、何らかの検討をしていければと思う。

- (2) 廣澤地域医療構想アドバイザーの意見

・四市一町のそれぞれの市町村の地域包括ケアシステムの取り組みについてそれぞれの市、町の特徴を持った取り組みをされているなど感じた。

・県央地域は65歳以上の高齢化率が24.1から33.1ということで、県はだいたい27.8の平均なので平均を上回っているところもあると思う。

・ACPの普及について、高齢者が増加してきており、全部運ぶことができればいいが、救急車もかなり目いっぱい働き病院も受ける方で大変であり、ACPを適正に運用し活用していただければと思う。

・高齢者が増えるので県央地域全体で51万の人口が2040年には45万となり、人口的には12%減ということであるが、高齢者については今75歳以上は9万人で、2040年も8万9千人ということで大体維持され、在宅医療は必要になってくる。

・在宅医療について、この圏域では在宅支援病院、在宅支援病院、あるいは在宅療養支援診療所が45医療機関あるので、その医療機関と協力しながら、在宅をしていただく先生を増やしていただければと思う。

- ・在宅を専門にする方もだんだんでてくるのかなと思う。
- ・新たな地域医療構想については、85歳以上が増加して、人口は減少する。2040年を見据えて、今後も、各世代の方が、適切な医療介護を受けながら、必要な時には入院して日常生活を送ることができるよう国も今年度末にはガイドラインを作成するということなので、各圏域でも取り組んでいただければと思う。
- ・県央地域の分析ということで。急性期を脱した方の受け皿が必要病床数を下回っているが、実際的には不足感はないということである程度、連携が取れているのかなと思う。回復期を見ると。稼働率が68.9%ということなので、県平均の74.7%を少し下回っている。うまく稼働率を上げて、今後も地域で連携していただければと思う。
- ・地域医療の分化連携について今後も引き続きよろしくお願いします。

以 上